

2021年 (令和3年)

# 12月 会場・教室案内

火曜は **けやきプラザ**教室、金曜は **湖北駅前教室(北口)**と **湖北台教室(南口)**、  
水曜は **天王台教室**。月曜、木曜は「**マナビトラボ**」(我孫子市子ども学習支援教室)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

～年末年始(冬休み)～

プラスワンの冬休みは12月24日～1月7日、  
1月は11日(火曜日)から。

マナビトラボは12月27日までやります。  
1月は6日(木曜)から始まります。



＜新木の气象台記念公園は、広い芝生でボール遊びができ木に囲まれた散歩道があります。駐車場もあります＞

## この頃“未来”のことをよく考える・・・

これからどういう未来あるのか、この頃よく思う。元々“未来”は“見えない”ものであったのに、地球温暖化や、原発事故や誰もが避けられない地震や津波など、“近未来”の恐ろしい災害ばかりが語られるからだろうか。また、大地震の可能性がA1などで詳細に発表され、リアルな画像が悲惨で、絶望的な数字が語られている。そして、テレビでCOP26という地球温暖化対策のニュースや、ドラマの“日本沈没”を見ていて、一体“未来”はあるのだろうかと思ってしまう。

しかし、“未来がどう”と言って心配するのは、どうも大人だけのようである。「子どもの未来のために」とか「未来を子どものために」とよく言うが、そういう大人たちが本当にそう考えているとは思われない。それは「子どものため」という大人の“思い込み”や“見せかけ”のようで、それは子どもたちにもう見抜かれているかもしれない。

今日“子ども”を“未来”と結びつけるのは、もう子どもには通用しない。子どもたちは“今”を生きているのであって、大人よりも今のことをよく見ている。また子どもはこれまで自分を語ることができず、語る方法も未熟で、認められることが少ないように思われる。しかし「地球温暖化、CO2削減」などに抗議する子どもや若者は、マスコミなどに利用されるとはいえ、もう見て見ぬふりはできない気がする。

子どもたち、若者の声に耳を傾けるのに遅すぎることはない。今日私たちにできるのはそういうことではないのかと思う。(相澤記)

**“プラス・ワン賛助会” 財政支援のお願い**  
自主夜間中学あびこプラス・ワンは、皆様の財政支援による自主運営をめざしています。

会費は郵便振替で下記へお振込み下さい。

1年2千円(一口)です。

振込先 「あびこプラス・ワン賛助会」

加入者番号 00250-2-87357

(手数料のご負担、お願いします)

連絡先：相澤(あいざわ)

でんわ : 090-4240-1975

メール : [aizy9242@yahoo.co.jp](mailto:aizy9242@yahoo.co.jp)

ホームページ : [abikoplus.web.fc2.com](http://abikoplus.web.fc2.com)